

いなか大肚の一工場長から 皆さまへの挨拶

昆沙門股份有限公司 総経理 大友 真一

◆ 自己紹介・会社紹介

上海から台湾へ2017年6月に赴任して約3年が経ちます。台湾居住が初めてであり、業界も未経験の私。期待と不安が綱交ぜ（ないまぜ）となっていた赴任当時の心境が懐かしく思われます。妻・娘と共に、台中市内に居住しています。

2018年4月の台中法人部会例会におきましては、光栄にも弊社の会社紹介をさせていただきました。弊社は株式会社スギヤス100%出資の台湾法人で、2001年3月に創立。各種の昇降移動式台車及び各種小型リフトなどを製造し、弊社本社製の物流関連機械も含めて販売しています。

台中地域には数多くの部品製造会社・代理加工会社が存在し、弊工場を支えてくれています。社員数は24名（私及び台湾人社員23名）。2013年5月に台中工業区から大肚区へ工場移転。売上高は約1.4億台湾元、売上海外比率は78%。工場敷地面積は約3600㎡の小規模工場です。



日本人会台中法人部会においてお知り合いになった多士済済の各社上級幹部各位を訪問、弊社の会社・商品紹介をさせていただきます。さまざまな意味で、本当に有意義な営業活動ができております。日本人会台中支部様・会員各社幹部各位には、たいへん感謝申し上げます。

◆ 工場周辺紹介

大肚区は以前「大肚郷」として台中県に所属。台中県廃止・台中市改組後、大肚区に改組。区と称しても、元々の行政単位が「市」「鎮」「郷」の3者では規模・風格が違います。弊社所在の大肚区は元々大肚「郷」で、人口57000人。のどかな土地で、私も気に入っています。

大肚山という300mほどの小山を主峰とする南北の小山脈を境に台中市街（西屯区・南屯区・烏日区）と接し、南部から西部にかけて烏溪という川で彰化県と接しています。（なお、台中市街地は東・西・北の三方を山で囲まれており、盆地と言えます。高速鉄道台中駅のホームからは、西側に大肚山地が眺望できます。）大肚山



頂の望高寮夜景公園からは、台中市内を一望でき、たいへん素晴らしい景観です。

台湾鉄道は竹南駅から彰化駅まで海岸線（海線）どちらかというところ（ローカル線）・台中線（山線）の2線に分岐しますが、大肚山の南麓で両線が合流して烏溪を渡り、彰化駅に至ります。大肚駅は海線の1駅で、風情がある、のどかな駅です。

大肚地域には、かつて原住民族連合の「大肚王国」が存在し、繁栄しておりました。17世紀初めの台湾統治者オランダの攻撃にも耐えましたが、鄭氏政権により1732年に滅ぼされました。「大肚」（DADU）という地名は、台湾原住民族の地名であり、福建系移民により閩南語発音漢字で「大肚」と表記されたものです。よって「大肚」は、大陸系移民以前からの由来の歴史的地名です。

私は、工場内勤日はほぼ毎日、昼休みは自転車に乗って工場近隣の田園風景の中を走り、陽光を浴びつつ田畑を眺め、四季を体感しながら弁当（工場支給）をいただいています。



大肚区を代表する歴史的建造物の横溪書院。1799年開創。中華民国第三級古跡に指定。



望高寮夜景公園から台中市の市街（山地の東側）を望む

また、横溪書院の主神「文昌帝君」に参拝し、家族の健康・幸せと会社の発展を祈念しております。

B級グルメ情報をひとつ紹介します。私が気に入っている豆花店の「薏糖豆花」。大肚の目抜き通りにあります（沙田路二段761号）。双子の兄弟（41歳）が経営しております。私の友人で、人柄がとてもいい人物です。豆花は一般的に、豆腐と同系列の苦汁（にがり）で固化しており、豆腐の風味ですが、この店の豆花は寒天（それも日本製）を使用し、アンニントウフを思い起こさせます。またスープも、蔗糖・麦芽糖・黒糖を秘伝の比率で合わせて作っています。私が常に注文するのは「花生（ピーナツ）豆花」。1杯30台湾元というのも、うれしい価格！その他の飲料（タピオカミルクティーなど）も、数ある飲料店と同じように、ほぼ揃えています。ぜひいちど、近くにお出での際には立ち寄って、お試しください。

縁あって勤務することになった大肚。取り立てて何かがあるわけでもありませんが、私にとりましては第二の故郷とも言えます。このいなかに、とても愛着を抱いています。

